

役	台詞・動き	ピンスポ・照明	ローテ
	動きは太文字、台詞は「」で表しています。	明転；全体に80くらい の明かり	緞帳が 上がる 前にス タンバ イ
	ピンマイクは2台、無線2台です ピンマイクは1をぐっち、2をかんじが付けます	ピンスポの時は20く らい	
予ベル			
本ベル	緞帳は下げたまま	明転	
	みさとが舞台上に立っている	みさとにピンスポ (上)	
	ぐっちーが下手から走ってくる ぐっちーがみさとのピンスポに合流	ぐっちーにピンスポ (下) みさとに近づき次第 (上) だけに	
ぐっちー	「ようやく私の発明品が完成したぞ！」		
みさと	「やったわね、あなた！」		
	かんじがチラシを持ちながら下手から入場	かんじにピンスポ (下)	
かんじ	「おとうさーん、チラシ入ってたよ」		
ぐっちー	「おお、ありがとう。」		
かんじ	「その変なのは何??」		
ぐっちー	「よくぞ聞いてくれた。これはな、父さんの最新 の発明品だ。名付けて、『なれそめわかーる』 だ」		
かんじ	「どうやって使うの？」		

ぐっちー	「これはな、カップルにかけるとその人たちの馴れ初めの瞬間にタイムスリップできる香水だ！」		
かんじ	「へー、で、帰る時はどうするの？」		
ぐっちー	「簡単だよ。タイムスリップした先で2人に香水をかければいいんだ」		
みさと	「ついにこんなものまで作れるようになったのね」		
かんじ	「ちなみになんだけど、お父さんとお母さんはどういう馴れ初めなの？」		
ぐっちー	「父さんと母さんは違う高校で、お互い吹奏楽部に入っていてな、高校の合同演奏会で出会ったんだ」		
みさと	「ちょうど30年前の1988年11月25日。合同演奏会で吹いていたあなたのソロに恋して、付き合うことになったのよね」		
ぐっちー	「そうそう、このチラシの合同演奏会だ。懐かしいなあ、実はあの時、演奏会が終わった後告白するつもりだったんだけど、先に母さんから告白されたんだ。」		
かんじ	「あ、そうなんだ」		
みさと	「で、この発明品のこともっと説明してよ！」		
ぐっちー	「この発明品の特徴はな、。。。。。。。」		
		ピンスポ（上） off	
	かんじが横に出る		
かんじ	「これ、お父さん達に使ったらどうなるんだろう、気になる～ よーし使っちゃおう！」		

	かんじが香水をこっそり取る		
		ぐっちーとみさとに ピンスポ（上）	
ぐっちー	「ということなんだ。じゃあかんじ、発明品を」		
	かんじが香水を2人に向けて発射 打楽器 キラキラした音		
かんじ	「よーし、お父さんとお母さんの馴れ初めの世界 へ！！」		
	かんじは上手へ、ぐっちー・みさとは下手へ退場	ピンスポすぐに （上・下）off	
		緞帳上がりつつ曲開 始	
<b>1曲目【Back to the future】</b>			
	指揮者礼		
		暗転	
	あだちが上手から入場 舞台上で悩んでいる あやね入場	あだちにピンスポ （下）	あだち のセリ フと同 時にロ ーテ
あだち	「あーあ、今日の合同演奏会、出たかったんだけど 申し込み忘れちゃったんだよな。。。出たいな あ。。。ん？なんだこれ？これは今日の演奏会で 演奏する曲の楽譜じゃないか！！よし、これがあ れば僕も一緒に吹けるぞ！！」		
	あだちが下手へ退場 無線マイクをみさとに渡す かんじが上手から登場	（下）すぐにoff 登場と同時にかんじ にピンスポ（上）	
かんじ	「おーーーーついた、ここはどこだろう。あ の、すみません」		
指揮者	「どうかしましたか？」	指揮者に（下）	
かんじ	「変なこと聞くんですけど、今日って何年の何月 何日ですか？」		
指揮者	「1988年の11月25日ですよ」		

		(下) off	
かんじ	「よかった！ありがとうございます！よし、お父さんとお母さんに会いに行こう！」		
	かんじが上手へ退場 ぐっちーとみさとが下手から入場	退場と同時に (上) off グッチーとみさとに ピンスポ (下)	
ぐっちー	「あー緊張するなー」		
みさと	「じゃあ本番前に楽譜の確認をしようか」		
ぐっちー	「そうだね」		
	楽譜の整理中 あだちは下手から席へ		
ぐっちー	「あれ？」		
みさと	「え、どうしたの？」		
ぐっちー	「僕の吹くソロの楽譜がないんだ！これじゃあ吹けない！」		
	かんじが上手から登場	かんじの登場と同時に (上)	
かんじ	「あ、お父さんとお母さんだ」		
	かんじがぐっちーとみさとに近づく		
かんじ	「本番頑張ってね！」		
ぐっちー	「それどころじゃないんだ！僕の吹くソロの楽譜がないんだよ！」		
かんじ	「え、それはまずいよ！ソロを吹かないとお母さんと結婚できないじゃん！」		

ぐっちー	「君は何を言っているんだ？そもそも君は誰だい？」		
かんじ	「僕は。。。」		
	かんじとぐっちーが前に出る かんじがぐっちーのピンスポに入る	(下) off	
かんじ	「あの、実は未来から来た、お父さんの息子なんです！」		
ぐっちー	「お父さん？いやいや、何を言ってるの」		
かんじ	「じゃあ。。。お父さん、今日の演奏会が終わったらあの子に告白するつもりでしょ」		
ぐっちー	「ななななんでもそれを！？」		
かんじ	「未来のお父さんから聞いたんだよ」		
ぐっちー	「まさか。。。ほんとに息子なのか？」		
かんじ	「それより、このままお父さんがソロを吹けないと、お母さんがお父さんに一目惚れしなくなっちゃうじゃん！」		
ぐっちー	「え、そうなの？そりゃまずいよ！」		
	みさとが2人に近づく	みさとに (下)	
みさと	「大丈夫？」		
かんじ	「うん。お父さん、僕が楽譜探してくるから一曲目始めておいて！」		
ぐっちー	「わかった！」		
		(上・下) off	
	みさとは下手、かんじは上手へ退場、ぐっちーは席へ みさとは舞台にマイクを置く		
		MCに (下)	
ずっこ	「本日は合同演奏会にご来場いただきまして誠にありがとうございます。では一曲目です。どうぞお聞きください。」		

	指揮者礼	(下) off 明転	
2曲目【シェリーに口づけ】			
	指揮者は礼、暗転まで動かない	暗転	
		MCに (下)	
ずっこ	「では休憩といたします」		
		(下) off	
	あだちが舞台上へ、練習 みさとがローテで舞台へ ぐっちーが下手へ退場 かんじが上手から出てくる	あだちに (下) かんじの登場と同時 に (上)	
かんじ	「楽譜を探しに来ただけど、そう簡単には見つからないよね。。。あれ??明らかに怪しい人が練習してるぞ??」		ローテ 開始
	かんじがあだちのピンスポ (下) に近づいて入る	(上) off	
かんじ	「すみません、ちょっといいですか??」		
あだち	「ごめん、今ちょっと忙しいからあとで」		
かんじ	「あの、今無くした楽譜を探しているんですけど、知りませんか?」		
あだち	「え、いや、知らないよ」		
	下手からぐっちーが入場	ぐっちーに (上)	
ぐっちー	「見つかった?」		
かんじ	「いや、まだ見つかってないよ」		
ぐっちー	「そうか。。。ってあれ??」		
	ぐっちーがあだちの楽譜をのぞいて手に取る		

ぐっちー	「これ僕の楽譜じゃん！！なんで持ってんの？」		
あだち	「いやぁこれはその。。。ごめんなさい！今日の演奏会に出たかったんだけど、申し込みを忘れちゃって、それで楽譜が落ちてたからつい。。。」		
ぐっちー	「そうか。。。ひとまず楽譜が見つかってよかったよ。君、演奏会に出たいからこんなことしたんだよね??」		
あだち	「はい」		
ぐっちー	「じゃあ一緒に出てくれないか？ちょうど今日1人欠席で足りなかったんだ。」		
あだち	「え、いいの？」		
ぐっちー	「ああ、君の音楽に対する姿勢は、さっきの練習から十分に伝わってきたからね。それに、吹奏楽はみんなでやる方が楽しいんだ！」		
あだち	「ありがとう！」		
かんじ	「よし、じゃあ早く戻ろう！」		
ぐっちー	「ちょっと、彼と話があるから先に行ってくれ！」		
あだち	「うん、わかった！」		
	あだちが下手へ退場 無線マイクを置く	ぐっちーに（下） かんじに（上）	
ぐっちー	「あのだな、未来から来たんだよな、息子よ。じゃあ今日告白すれば成功するってことか？」		
かんじ	「うん、お母さんはお父さんのソロを吹いている姿に恋をするらしいから、ソロ頑張るね」		
ぐっちー	「わかった！よし、急いで帰ろう！」		
	ぐっちーとかんじは上手へ退場 みさとは舞台上から登場 ぐっちーとかんじ上手から登場 かんじは香水を持っている あだち入場	（上・下）off  みさとに（下） ぐっちーとかんじに（上）	

みさと	「早く！次の曲が始まっちゃうわよ！」		
ぐっちー	「ごめんごめん」		
かんじ	「じゃあお父さん頑張ってるね。」		
ぐっちー	「ありがとう、息子よ」		
かんじ	「じゃ、また未来で！！」		
	かんじが2人に香水をかけて上手へ退場		
		みさとに（下） ぐっちーに（上）	
みさと	「これなに??」		
ぐっちー	「きっと演奏が成功するおまじないだろう。さあ、次の曲頑張ろう」		
		（上・下）off	
	2人が各々の席へ		
		MCに（下）	
ずっこ	「続いての曲です。どうぞお聞きください」		
		（下）off 明転	
<b>3曲目【ビートルズ】</b>			
	指揮者礼		
		暗転	
	みさととぐっちーが舞台から登場	ぐっちー(上) みさと(下)	
みさと	「ソロすごくかっこよかったよ！」		ローテ 開始
ぐっちー	「ああ、ありがとう」		
みさと	「ちょっとこっち来て、言いたいことがあるの」		
	みさととぐっちーが下手に退場	追いながら(上・ 下)off	
		暗転	
		明転	
	(どーん的な打楽器)		



	かんじが上手から入場		
		かんじの入場と同時に（上）	
かんじ	「いててて。。。ちゃんと帰れたのかな？？あの、すみません」		
		指揮者に（上）	
指揮者	「なんですか？」		
かんじ	「変なこと聞くんですけど、今日って何年の何月何日ですか？」		
指揮者	「2018年の11月25日だよ」		
		（上） off	
かんじ	「よし。戻れた！じゃあ家に帰ろう！」		
		（下） off	
	かんじが上手へ退場 ぐっちーとみさとが下手から登場 かんじが上手から登場		
		ぐっちーとみさとに（下） かんじの登場と同時に（上）	
かんじ	「ただいまー」		
ぐっちー	「かんじー！人の発明品を勝手につかっちゃダメじゃないか！」		
かんじ	「ごめん。でも、お父さんとお母さんの馴れ初めが見られて、すごく楽しかったよ！演奏会のソロも成功してよかった！」		
ぐっちー	「ああ、ありがとう」		
みさと	「あの後私から告白して、付き合うことになったのよねー」		
みんな	「うんうん」		
かんじ	「ねえ、今年の合同演奏会も見に行こうよ！」		
ぐっちー	「ああ、いいぞ。今年の曲目は。。。お、最後にこの曲をするのか。楽しみだなー」		

		暗転 (上・下) off	
	席へ移動	ドラムに (上)	
		曲の9小節目アフタ クトで明転 (上) off	
4曲目 【Sing Sing Sing】			
	指揮者礼	緞帳下げる	
影アナ	「これもちまして、2部を終了とさせていただきます。」		